

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 2月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2018年1月31日(水)

豊かな感性の持ち主になる

校長 夏見隆晴

今年も、はや睦月も往に、如月を迎えることになりました。保護者の皆さまには、新しい年が幸多かれと願っております。また本年も、宜しくご指導の程お願い申し上げます。

私のこととなりますが、昨年末より入院を余儀なくされ、お子様方また保護者の皆さまに、ご迷惑と心配をおかけしました事、今更ながらお詫び申し上げます。

本年度の残された短い日々を、精一杯有効に使い、お子様方の一層の成長を祈願しながら、わたし自身も生徒たちに負けないように、人間としての成長に努力してまいります。

わたしは生来健康に恵まれていましたので、三か月の長期入院と宣告されて不安で一杯でした。けれども、担当医の先生をはじめ病院のスタッフの方々のお陰で、先ずは健康を取り戻す事が第一であると決心することが出来ました。結果、わたし自身の心も落ち着きました。とは言え、保護者の皆さまには、仕事を離れたことで、ご迷惑をおかけしたことに変わりはありません。本当にすみませんでした。おゆるし下さい。

しかし、わたし達が過ごしている日々は、失うことばかりでは無いということも、今回の入院でよく解りました。「手術も無事終わった」のだという実感を得られたのは、術後に運び込まれた集中治療室での事でした。そこで働いていた男性職員の方から「よく頑張りましたね。大丈夫ですよ。カトリックの先生ですよ。僕もカトリックにお世話になったのですよ」と声を掛けていただいて、ここにもご縁があったと知り、気が落ち着きました。

今回の入院騒ぎで、わたし自身が一番学んだことは、人は独りで生きているのではない、ということでした。わたしは、生き方として「人に迷惑を掛けてはいけない」と教えられ、それを実行してきたつもりでした。でも人は結局、多かれ少なかれ人に迷惑を掛けて生きているのではないかと、考えるようになりました。助けてもらうことの少ない人間は、隣人を助けることも少ない者になってしまうのではないかと考えるようになったのです。

人は成長後も、独りでは何もできないと知る機会が与えられれば、喜んで受け、精一杯努力して自己改革を断行すべきです。そしてそのような機会は、誰の人生にも必ず訪れているのでしょう。きっとこのことに気づくことなく過ごしてきたか、あるいは気づいても見過ごしてきたかでしょう。自分ひとりの人生などあり得ないことに心を留め、他者と共に歩む人生こそ真の人生である、と信じて生きて行く覚悟を致しました。

今回、多くの人たちのお陰で命を長らえることが出来た事、主なる神に感謝しております。そのお礼の言葉は、皆さんお一人お一人に申し述べる必要があると存じておりますが、わたしとしては今回の主治医の先生のお言葉「仕事に生きることに必要なのは豊かな感性です」と職員の方たちに指導していた事に感銘を受け、わたし自身感性を磨き、一人でも多くの人々のためになりたいと、心に誓い再出発いたします。ありがとうございました。

“Every cloud has a silver lining.”

英語科 ダンカン啓子

自慢できることではありませんが、10代の頃の私の読書量は多くありませんでした。大学を卒業し教員になる頃から、その反省はようやく生かされるようになりました。遅い気づきでした。

振り返れば、私は本の中に、「私を認め、励まし、まるごと受け入れてくれる言葉」を探していたように思います。「それでいいんだよ」と共感してくれる本の中の言葉との出会いに支えられているのは、若かりし日のみでなく、今も同様です。中には、本を通して、「これはもう私にだけ向けられた言葉だ」という錯覚に酔いしれ、自分の体験とシンクロするような幸運な出会いもあります。その喜びの体験の中で、「人は言葉で考える」ということも納得しました。言葉を知ることで思いを確認し、ポジティブになるというプロセスが読書にはあると思います。健全な精神と健全な身体を保つことにもつながります。

言葉を通して教える立場となり、子の親となってからは、上述の独りよがりな読み方から「相手を認め、励まし、共感を表す言葉」を読んだ本の中に見つけ、心に留めるようになっていきます。とは言え、知っている言葉を放てばよいのではなく、たった一つのことをどう言うかで、相手の心を大きく動かすこともあれば、また届かないこともあります。まさに、『心に愛がなければ、どんな美しい言葉も相手の胸に響かない』（聖パウロの言葉）ということでしょう。

口から出る言葉には大いに骨を折らねばならないと確認する日々です。

さて、受験シーズンになり、目標に向かって邁進するみなさんに

“In the middle of difficulty lies opportunity.” (困難の中にチャンスがある)

アインシュタイン

という言葉をご紹介します。

そして、結果がどうあれ、かならず道は目の前に広がっています。

“Every cloud has a silver lining.” (雲の上はいつでも晴れ)

ジョン・ミルトン

必ず、これでよかった、という日がきますように！





2月の行事

2月1日(木)	午前：通常授業 午後：予餞会
3日(土)	家庭学習日 中学後期入試
6日(火)	中1～2 学力推移調査 中3 全国総合学力診断 高1 河合記述模試 高2 センター早期模試
7日(水)	職員会議 完全下校 16時20分
9日(金)	卒業感謝ミサ 卒業式予行
10日(土)	＊沖縄カトリック高等学校卒業式＊
11日(日)	建国記念日
12日(月)	振替休日
17日(土)	総合 数学検定
18日(日)・25日(日)	英検2次試験会場
20日(火)～23日(金)	第5回定期試験
24日(土)	家庭学習日 高1・2 希望者 東進模試
26日(月)	答案返却日





生徒の頑張り



★第38回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

<高校の部>

1-B 赤嶺佳菜美*	祝・最優秀賞	テーブルクロスセット
1-A 山内彩加	優秀賞	リュックサックとリード
2-A 大城アリナ姫花	優秀賞	リュックサック・ショルダーバッグ・トートバッグ
2-A 外間栄美**	審査員特別賞	タペストリーとファイル
1-B 上地花鈴	佳作賞	タペストリー
2-A 富川真由	佳作賞	ソファーカーカバーとクッション

<中学の部>

3-B 外間玲美*	祝・最優秀賞	タペストリー
2-A パーカー絵理華アシュリ	佳作賞	エプロン・頭巾
1-B パーカー ライアン 海	努力賞	ペンケース・バッグ
1-A 鄭安妮	努力賞	プルオーバーとシャツ
1-A 宮城藍伽	努力賞	ブラウスとスカート

*最優秀賞に選ばれた高1 赤嶺佳菜美さんと中3 外間玲美さんには経済産業大臣より賞状が下付されます。おめでとうございます。

**審査員特別賞に選ばれた高2 外間栄美さんは2年連続で最優秀賞受賞につき今回は審査員特別賞を授与されました。

更に、上記入賞者の中から本校を代表して、赤嶺佳菜美・山内彩加・大城アリナ姫花・外間栄美・上地花鈴・外間玲美の6名が3月3日土曜日に東京都で行われる受賞式と受賞者交流会に招待されました。

2018年度沖縄カトリック中学高等学校生徒会役員紹介

<高校>

会長	渡名喜ちみ
副会長	秋葉亜利寿
会計	佐野建斗
書記	田場至恩

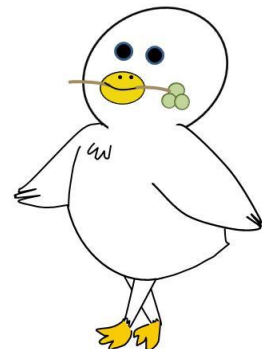
<中学>

副会長	吉川宗志
会計	新垣藤子
書記	河野瑠導

任期:2018年2月1日~2019年1月31日



小羊くん



ハトリック

2017年度の生徒会役員のみなさん、今までありがとうございました。